

三中図書館だより



令和4年度 No. 8

11月10日 図書文化委員会

学校司書 発行

秋の夜長にみなさんは何を楽しんでいますか？ 学校司書の私としては、やはり読書をオススメしたいです！ 本にもいろいろ種類があって、小説を読むことだけではなく、いろんな楽しみ方があります。学校図書館でも、鳥や動物の図鑑をみている人や漫画や絵の描き方の本を借りていく人もいます。中高生新聞の芸能欄を楽しんでいる人もいます。これらを自分の隙間時間に楽しめると、とても有意義なものになるのではないかと思います。

つながる読書



読書ページ総数 43,321 ページ ~ 11/9

順位ページ数

1位 5,139 3年 権元 沙耶さん

2位 4,716 3年 松井菜乃華さん

3位 4,610 2年 知家日菜乃さん

芸術って!?

芸術の秋でもあります。本の世界で芸術を味わえるものを集めてみました。みなさんは、芸術ってなんだと思いますか？

『デザインあ みるほん』



大きくしてみる。構造を見る。材料をみる。比べてみる。仕組みを見る。切ってみる。順番にみる。いつもと違う見方をするので、あ、こういう見方もあるんだ、と思ったり、なるほど!と唸(うな)ったり。普段身近にあるものを違った角度で見ても、芸術なのかもしれません。

『おすしがふくをかいにきた』



主人公が擬人化されています。ずっとおすしでいくのかと思いきや……数々の発想力に驚かされます。全体を通して発見できるものもあり、数回読むことで、さらに面白さが増す気がします。ミニチュア作品の世界を絵本の中でも楽しむことができる作品です。

『線は僕を描く』



家族を失い、悲しみの中にいた青山霜介は、バイト先の展示会場で、ある老人と出会う。その人は、水墨画の巨匠と言われる篠田湖山。一方的に内弟子にされた霜介は……「水墨画」は、筆先から生み出す「線」のみで描かれる芸術だといわれています。映画も公開されました。読んでいて、本では見ることのできない水墨画を実写で見たくくなりました。芸術って心がまっすぐに表れるのかも……



あたらしい本が
入りました!

紹介したもの以外の本も
あるので、見に来てね!

『Eバーガーシリーズ1~5 恋とポテトと文化祭 ほか』

『はじめて学ぶ精神疾患 不安症』など

『中高生に寄り添うブックガイド 青春の本棚』

『10代の不安や悩みにこたえる「性」の本』

『おいしいごはんが食べられますように』

『ちはやふる 百人一首勉強ノート』 『その本は』

『両手にトカレフ』 『弱虫ペダル 10』

『保健室経由かねやま本館。5』 『5分で読書シリーズ』